

言葉がちがっても友だち

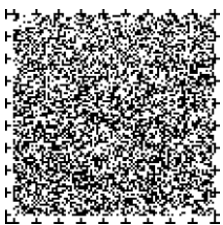
小 三

A国から、Bちゃんが、日本のC小学校に転校してきました。

Bちゃんの家は、ぼくの家と近いので、Bちゃんは、ぼくといっしょの通学はんに入ることになりました。でも、BちゃんはA国から来たので、日本語がまったく話せません。言葉が通じないA国の人が自分のはんに入ることになったので、ぼくは、とても心配になりました。

さいしよは、Bちゃんといっしょに登下校していても、一度も話すことができませんでした。たまに、Bちゃんが話しているのを聞くけれど、A国の言葉なので、ぼくには、まったく分かりませんでした。

Bちゃんは、お兄ちゃんと同じクラスです。ぼくは、Bちゃんの話
ことが気になって、お兄ちゃんに聞いてみました。お兄ちゃんの話



だと、Bちゃんは、日本語の勉強をがんばっているそうです。自分の名前が書けるように、いっしょうけんめい練習もしているそうです。言葉が分からないのに、くじけずにがんばっているBちゃんはすごいなと思いました。ぼくは、だんだん、Bちゃんと話をしたくなりました。今は、まだゆう気が出なくて、自分からは話しかけることができないけれども、これから、できるだけ話せるようにしたいです。

Bちゃんは、日本の言葉がわからないのでふあんだと思います。だから、ぼくがA国のあいさつの言葉を練習して、ぼくからBちゃんにあいさつをしたいと思っています。

